

まちの財政状況 平成29年度決算

壮瞥町では、町民の皆さんが納めた税金や国・道からの補助金、町債（借入金）などを財源として、さまざまな事業を実施しました。
平成30年第3回定例議会において、平成29年度決算が認定されましたので、決算の概要についてお知らせします。

歳出総額は 51億4,899万4千円（※一般会計・特別会計合計）
前年度比2.6%の減（1億4,016万円減）

●一般会計

歳入決算額 39億6,670万円（前年度比6.4%の減）

歳入総額は39億6,670万円で、前年度と比較すると2億7,249万円の減額となりました。

主な減少要因としては、町債で過疎対策事業債の減少、道支出金で幌別硫黄鉱山坑廃水処理業務委託金の減少、諸収入で地熱資源開発調査事業費助成金の減少が挙げられます。

また、地方交付税と地方交付税の実質的な振替財源である臨時財政対策債の総額は、前年度と比べて6,924万円減の18億4,076万円となり、町の貯金にあたる基金のうち、財政調整基金の繰り入れ（取崩）は、前年度と比べて4,914万円減の2億217万円となりました。

（単位：千円）

区 分	平成28年度		平成29年度		比較増減 ②-①
	総額 ①	構成比	総額 ②	構成比	
町税	412,508	9.7%	412,666	10.4%	▲ 158
地方交付税	1,826,652	43.1%	1,759,440	44.4%	▲ 67,212
国・道支出金	843,698	19.9%	764,057	19.3%	▲ 79,641
町債	277,554	6.5%	260,223	6.6%	▲ 17,331
繰入金	293,611	6.9%	262,379	6.6%	▲ 31,232
その他	585,169	13.8%	507,934	12.8%	▲ 77,235
歳入合計	4,239,192	100.0%	3,966,699	100.0%	▲ 272,493

※百分率の算出にあたっては、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位表示としているため、その和は必ずしも100%に一致しない。

歳出決算額 38億3,822万円（前年度比6.2%の減）

歳出総額は、38億3,822万円で、前年度と比較すると2億5,508万円の減額となりました。

性質別に前年度と比較すると、投資的経費は仲洞爺団地の建て替えや農業研修生用シェアハウスの整備等を行いました。また、蟠溪地域地熱資源開発調査委託費や農村環境改善センターおよび保健センターの改修費等が減少したことなどにより、1億4,805万円の減額となりました。

また、物件費ではLED照明導入調査事業委託料の減少等により、前年度と比べて238万円の減額、公債費では借入額が大きい平成16年度過疎対策事業債（借入額：2億2,760万円）の償還を前年度に終えたことなどにより、前年度と比べて485万円の減額となりました。

（単位：千円）

区 分	平成28年度		平成29年度		比較増減 ②-①
	総額 ①	構成比	総額 ②	構成比	
人件費	691,163	16.9%	680,723	17.7%	▲ 10,440
物件費	548,369	13.4%	545,990	14.2%	▲ 2,379
維持補修費	87,395	2.1%	86,394	2.3%	▲ 1,001
補助費等	458,503	11.2%	461,527	12.0%	▲ 3,024
投資的経費	1,010,601	24.7%	862,550	22.5%	▲ 148,051
公債費	528,118	12.9%	523,269	13.6%	▲ 4,849
繰出金	363,947	8.9%	318,197	8.3%	▲ 45,750
扶助費等	405,194	9.9%	359,565	9.4%	▲ 45,629
歳出合計	4,093,290	100.0%	3,838,215	100.0%	▲ 255,075

●特別会計の決算

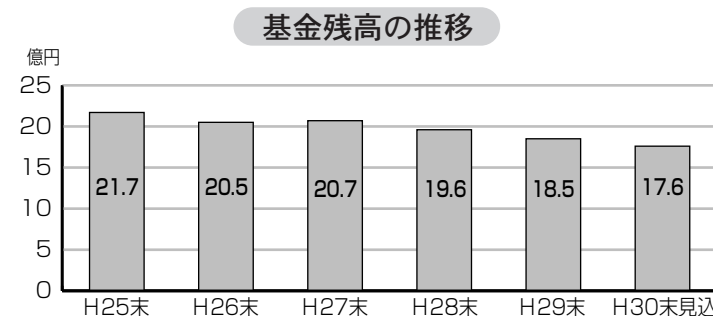
（単位：千円）

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	492,513	460,736	31,777
後期高齢者医療	44,181	43,460	721
介護保険	354,705	341,257	13,448
簡易水道事業	207,593	207,091	502
集落排水事業	258,536	258,235	301

●基金残高の状況（※基金は家庭での貯金にあたるものです）

特定目的基金の国際交流基金や国鉄胆振線代替基金等では、例年どおり各事業にかかる経費分の繰入を行いました。また、財政調整基金では、2億217万円を繰り入れましたが、前年度からの繰越金を含め、1億49万円を積み立てたことにより、最終的には前年度に比べて1億168万円の減となりました。基金全体としては、前年度末に比べて1億1,688万円の減（前年度比6.0%の減）となりました。

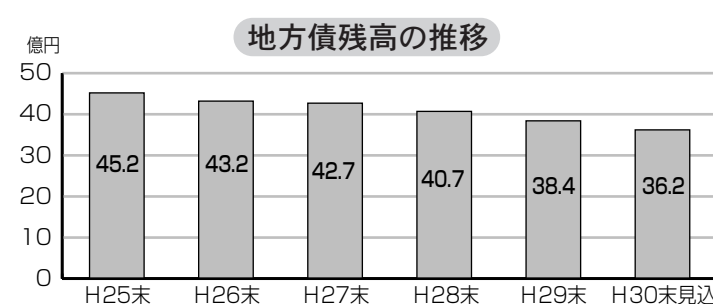
区 分	平成29年度末
財政調整基金	4億4,652万円
減債基金	5,188万円
国際交流基金	3億4,524万円
国鉄胆振線代替基金	1億743万円
その他特定目的基金	4億4,805万円
備荒資金組合納付金	4億4,589万円
合 計	18億4,501万円



●地方債残高の状況（※地方債は家庭での借金にあたるものです）

地方債残高は38億4,255万円となり、前年度末に比べて2億2,359万円の減（前年度比5.5%の減）となりました。平成21年度をもって大型事業が終了し、以降の地方債の発行を抑えたこともあり、地方債残高は減少傾向にあります。

区 分	平成29年度末
公営住宅建設事業債	9億2,870万円
過疎対策事業債	11億4,524万円
臨時財政対策債	13億6,116万円
その他	4億745万円
合 計	38億4,255万円



●平成29年度決算に基づく健全化判断比率等の公表について

健全化判断比率とは、まちの財政状況の健全度を示す指標で、毎年度の決算について、その比率を議会に報告するとともに、公表することが義務づけられています。

本町の平成29年度決算に基づく健全化判断比率と公営企業の資金不足比率をお知らせします。

健全化判断比率

	壮瞥町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-※	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	-※	20.0%	30.0%
実質公債費比率	12.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率	5.6%	350.0%	

※「-」は、赤字額がないことを表しています。

資金不足比率

	壮瞥町	早期健全化基準
簡易水道事業特別会計	-※	20.0%
集落排水事業特別会計	-※	20.0%

※「-」は、資金不足がないことを表しています。